SONY

ユーザーガイド

Bluetooth®キーボード

BKB50

2015年6月(第1版)

目次

はじめに 3
各部の名称 3
BKB50 表面 3
BKB50 裏面 3
キー操作について 4
①ファンクションキー 4
②その他のキー 4
③キーアイコン 5
操作説明 5
充電する 5
電源をオン／オフにする 5
本機を使うには 5
通知 LED について（本機） 6
本機をリセットする 6
本機の使いかた 7
タブレットを取り付ける 7
タブレットを取り外す 8
タブレットの角度を調節する 8
ランチャーについて 9
ランチャー 9
ショートカットの編集 9
PC スタイルキーボード設定 11
全般 11
タッチパッド設定 11
概要 12
タッチパッドを使う 13
タブレットのスリープモード／画面ロック解除 14
本機を使ってタブレットのスリープモードを解除する 14
本機を使ってタブレットの画面ロックを解除する 14
タブレットを取り付けたまま持ち運ぶ 14
困ったときは 14
解決方法を確認する 14
主な仕様 15
Legal information 16
DECLARATION OF CONFORMITY 16

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

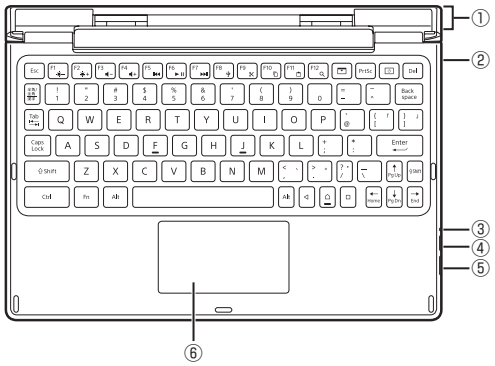
はじめに

本機をお買い上げいただき、ありがとうございます。本機に付属の取扱説明書には安全にお使いいただくための重要な注意事項と基本的な説明を記載しております。本ユーザーガイドとあわせてお読みの上、製品を安全にお使いください。

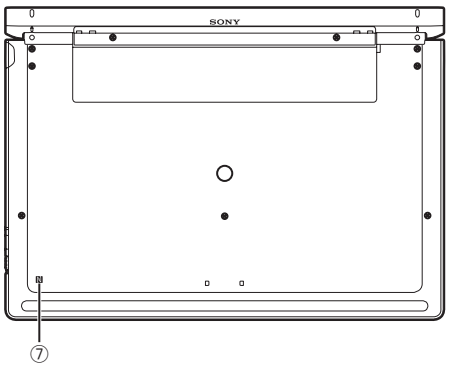
- 本機は防水仕様にはなっておりません。お風呂場などの湿気が多い場所や雨などがかかる環境でのご使用はおやめください。
- 本機は Xperia™ Z4 Tablet 専用です。他の端末と組み合わせてご使用になった場合の動作、性能は保証対象外となります。
- 本書では「Xperia™ Z4 Tablet」を「タブレット」と表記しています。

各部の名称

BKB50 表面



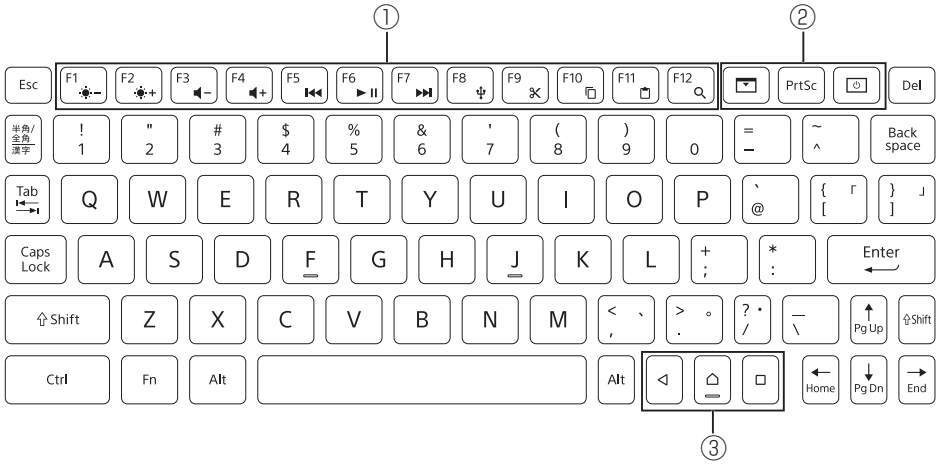
BKB50 裏面



①	タブレット取り付け部
②	microUSB 接続端子 本端子は充電専用です。データなどのやりとりはできません。
③	通知 LED
④	*Bluetooth*® ペアリングスイッチ
⑤	電源スイッチ
⑥	タッチパッド
⑦	N マーク ワンタッチ接続（NFC）時、ここにタッチします。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

キー操作について



①ファンクションキー

Fn と F1 ～ F12 のいずれかのキーを同時に押すと、ショートカットキーとしてさまざまな機能を使うことができます。

ヒント

- 「ファンクションキーの動作変更」を有効にすると、Fn を同時に押さなくても F1 ～ F12 の機能を実行することができます。設定の変更方法については「ファンクションキーの動作を切り替える」（→ P11）をお読みください。

Fn + F1	画面を暗くする
Fn + F2	画面を明るくする
Fn + F3	音量を下げる
Fn + F4	音量を上げる
Fn + F5	前のオーディオまたはビデオファイルに移動
Fn + F6	再生または停止
Fn + F7	次のオーディオまたはビデオファイルに移動
Fn + F8	タブレットに接続された USB 機器を検出
Fn + F9	切り取り
Fn + F10	コピー
Fn + F11	貼り付け
Fn + F12	検索

②その他のキー

	:ステータスバーを開く
PrtSc	:スクリーンショットを保存する
	:タブレットの電源キー／画面ロックキーと同じ操作を行う

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

③キーアイコン

	:直前の画面に戻る ダイアログボックス、オプションメニュー、通知パネルなどを閉じる
	:ホーム画面を表示する
	:最近使用したアプリを一覧表示し、起動したり終了したりする スモールアプリを使用する

操作説明

充電する

はじめてお使いになる前に、約 3 時間充電をしてください。

1 AC アダプター、microUSB ケーブルを本機と接続しコンセントに差し込む
- 充電が開始され本機のバッテリー通知 LED が点灯し、充電が完了すると消灯します。
- AC アダプター、microUSB ケーブルは付属されていません。タブレットで指定または推奨されているものをお使いください。推奨の AC アダプターについては、ホームページをご確認ください。
http://www.sonymobile.co.jp/product/accessories/bkb50

ヒント
- バッテリー通知 LED が消灯した後も、しばらく充電をし続ける場合があります。充電は、電池残量がない状態から約 3 時間を目安に行ってください。
- 周囲の温度環境が使用温度範囲（5℃～ 35℃）を超えている場合、充電が停止しバッテリー通知 LED が消灯します。この場合は、microUSB ケーブルをいったん取り外し、周囲の温度環境が使用温度範囲内であることを確認してから再度接続して充電を行ってください。

電源をオン／オフにする

電源をオンにする

1 本機の電源スイッチをスライドして電源をオンにする
- 本機の電源がオンになると、通知 LED が白色で点灯します。

電源をオフにする

1 本機の電源スイッチをスライドして電源をオフにする

! 注意
- 電波が影響を与えるおそれがあるため、医療機器の近くでは本機の電源を必ずオフにしてください。

ヒント
- 本機を一定時間操作しない状態が続くと、自動でスリープモードになります。本機のいずれかのキーを押すと、スリープモードが解除されます。

本機を使うには

はじめて本機と組み合わせて使う場合は、最初にペアリング（機器登録）をしてください。本機とペアリングできる機器は 1 台のみです。次の 2 つの接続方法から選んで行ってください。

ヒント
- 本機とタブレットが接続されるとタブレットにランチャーが表示されます。ランチャーについて詳しくは、「ランチャーについて」をご覧ください。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

ワンタッチ接続（NFC）

1 タブレットの *Bluetooth* 機能および NFC 機能がオンになっていることを確認する
2 本機の N マーク部分に、タブレットの N マークを近づけてタッチする
   • 本機の N マークにタブレットの N マークを近づけてタッチする際には、タブレットの画面が点灯し、ロックが解除されていることを確認してください。
3 画面の指示に従って接続を完了する
   • 接続されると、本機の通知 LED が白色で点灯します。

マニュアル（手動）接続

1 タブレットの *Bluetooth* 機能がオンになっていることを確認する
2 本機の電源スイッチをスライドして電源をオンにする
   • 本機の電源がオンになると、通知 LED が白色で点灯します。
3 本機をペアリングモードにする
   • *Bluetooth®* ペアリングスイッチを長押しすると通知 LED が青色で点滅し、ペアリングモードになります。

ヒント
• はじめて本機の電源をオンにした場合は自動でペアリングモードになり、通知 LED が青色で点滅します。

4 タブレットのアプリ一覧で［設定］→［Bluetooth］→ ⋮ →［検索］をタップし、「使用可能な機器」から「BKB50」を選択する
   • 接続されると、本機の通知 LED が白色で点灯します。

通知 LED について（本機）

ヒント
• 通知 LED が赤色で点滅したときは、本機の電池残量が少なくなっています。すぐに充電してください。

通知 LED（充電時）

LED の状態	通知内容
緑色に点灯	電池残量が十分残っている
橙色に点灯	電池残量がやや少ない
赤色に点灯	電池残量が少ない

• 充電中でも、ペアリングモード中は電池残量に関係なく青色に点滅します。

本機をリセットする

1 本機の電源をオフにする
2 本機の電源スイッチを約 15 秒間スライドし続ける
   • 通知 LED が緑色で 4 回点滅し、リセットされます。

！ 注意
• 本機をリセットすると、ペアリング情報が削除されます。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

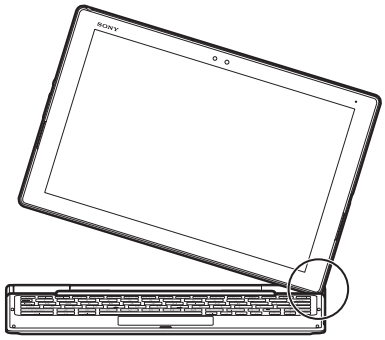
本機の使いかた

タブレットを取り付ける

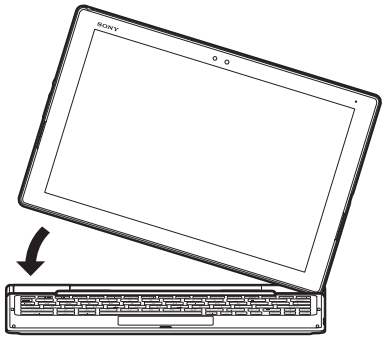
! 注意

- 取り付けの前に、本機のタブレット取り付け部に異物がないことを確認してください。
- タブレットを取り付ける際に指などを挟まないようご注意ください。
- タブレットにカバーなどが付いている状態での取り付けはおやめください。
- 別売のタブレット用スクリーンプロテクター（PRT13）以外の、厚みのある保護フィルムをタブレットに貼り付けている場合は本機に正しく取り付けられないことがあります。

1 本機のタブレット取り付け部の右端とタブレットの右下部を合わせる
   - 取り付けの際、タブレットが垂直になるようにしてください。垂直以外の角度で取り付けようとすると、故障や破損の原因となります。
   - タブレットは、本機のタブレット取り付け部に正しく取り付けてお使いください。タブレットを縦に置いたり、裏返して置いたり、本機のタブレット取り付け部からはみ出して置いたりすることは絶対におやめください。



2 タブレットをイラストのように上から押し、本機のタブレット取り付け部にしっかりと固定する



ヒント

- 本機のタブレット取り付け部の左端とタブレットの左下部を合わせて同様の操作を行っても、取り付けを行うことができます。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

タブレットを取り外す

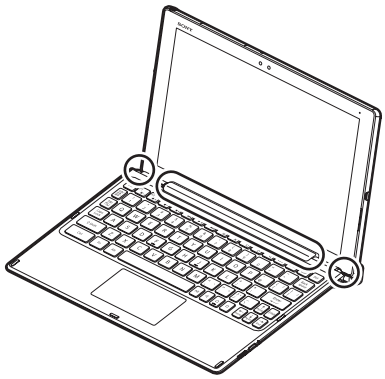
1 本機のイラストのグレー部分をおさえて、タブレットを矢印の向きに引き上げて取り外す

タブレットの角度を調節する

タブレットを本機に取り付けた後、タブレットの傾きを調節することができます。

! 注意

- タブレットの角度を調節するときは、力を入れすぎないようにしてください。無理に開こうとすると、故障や破損の原因となります。
- タブレットの角度調整時や開閉時に、本機の隙間部分（下記イラストの○部分）に指や爪などを挟まないようにお気をつけください。



これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

ランチャーについて

本機とタブレットが接続されると、タブレットの画面左下にランチャーが表示されます。ランチャーでは、ショートカットの作成／編集や本機の各種設定確認および変更ができます。

ヒント

- 本機とタブレットがペアリング済みの場合、本機の Enter キーなどを押すと本機とタブレットが接続されます。

ランチャー

①	：ランチャーメニュー 最近使用したアプリを表示したり、ショートカットの編集画面や本機の設定画面を開いたりできます。
②	ショートカットエリア
③	ショートカット１／２／３の切り替え

ショートカットの編集

よくお使いになるアプリケーションのショートカットをランチャーに表示させることができます。

1 をタップしてランチャーメニューを表示する

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

2 をタップして「ショートカットの編集」画面を表示する

3 ランチャーに表示させたいアプリケーションを「アプリケーション」欄（画面右側）から「ショートカット 1 ／ 2 ／ 3」欄のいずれかにドラッグして追加する

4 保存 をタップし、設定を保存する

ヒント

- ショートカットを削除する場合はショートカットの編集画面で削除したいアイコンをロングタッチし、画面下部の 削除 までドラッグします。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

PC スタイルキーボード設定

タッチパッドの有効／無効を切り替えたり、タッチパッドの設定を変更したりすることができます。

全般

タッチパッドの有効／無効を切り替える

1 をタップしてランチャーメニューを表示する
2 をタップして PC スタイルキーボード設定画面を表示する
3 「タッチパッド」のスライドスイッチを移動し、有効／無効を切り替える

ヒント
- スライドスイッチを右側に移動すると有効になり、左側に移動すると無効になります。

ファンクションキーの動作を切り替える

本設定を有効にすると、 を押しながら ～ を押すと実行される機能が を押さなくても実行できるようになります。

1 をタップしてランチャーメニューを表示する
2 をタップして PC スタイルキーボード設定画面を表示する
3 「ファンクションキーの動作変更」のスライドスイッチを移動し、有効／無効を切り替える

ヒント
- スライドスイッチを右側に移動すると有効になり、左側に移動すると無効になります。

タッチパッド設定

注意
- タッチパッドが有効になっている場合のみ設定することができます。

ポインターの速度を変更する

1 をタップしてランチャーメニューを表示する
2 をタップして PC スタイルキーボード設定画面を表示する
3 「ポインターの速度（遅い – 速い）」のスライダーを移動し、速度を調節する

タッチパッドのタッチブロックの変更

文字入力中の意図しないタップ操作を防ぐため、タッチパッドを無効にする時間を設定します。

1 をタップしてランチャーメニューを表示する
2 をタップして PC スタイルキーボード設定画面を表示する
3 「タッチパッドのタッチブロック（長い – 短い）」のスライダーを移動し、時間を調節する

パームチェックの有効／無効を切り替える

本設定を有効にすると、キーボード操作時に誤って手のひらがタッチパッドに触れた場合の意図しないポインター／カーソルの動きを防ぎます。

1 をタップしてランチャーメニューを表示する
2 をタップして PC スタイルキーボード設定画面を表示する
3 「パームチェック」のスライドスイッチを移動し、有効／無効を切り替える

ヒント
- スライドスイッチを右側に移動すると有効になり、左側に移動すると無効になります。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

概要

本機の機器アドレスや電池残量などを確認したり、ファームウェアの更新をしたりすることができます。

ランチャーメニューからファームウェアを更新する

ファームウェアの更新があると、タブレットの画面にメッセージが表示されます。メッセージに従って、ファームウェアの更新を行ってください。ファームウェアの更新をスキップした場合やファームウェアの更新に失敗した場合は、次の手順で更新することもできます。

1 をタップしてランチャーメニューを表示する
2 をタップして PC スタイルキーボード設定画面を表示する
3 「ファームウェア更新」をタップする

! 注意

- ファームウェアの更新中は、本機とタブレットの *Bluetooth* 接続を切断したり、本機やタブレットの電源をオフにしたりしないでください。ファームウェアの更新に失敗することがあります。
- 本機およびタブレットの電池残量がそれぞれ 30% 以上あることを確認してから更新を開始してください。

本機とタブレットを再接続してからファームウェアを更新する

本機とタブレットの *Bluetooth* 接続が切断された状態ではファームウェアの更新を行うことができません。そのようなときは次の手順で本機のファームウェアの更新を完了してください。

1 タブレットのアプリ一覧で［設定］→［*Bluetooth*］→ →［検索］をタップする
2 「使用可能な機器」から「BKB50」または「OTA Update」を選択する

ヒント

- 「使用可能な機器」に「BKB50」または「OTA　Update」が表示されない場合は、本機のペアリングキーと電源キーを同時に約 3 秒押して再度検索を行ってください。

3 タブレットの画面に表示されるメッセージに従って、ファームウェアの更新をする

ヒント

- タブレットの画面にファームウェアの更新メッセージが表示されない場合は、「ランチャーメニューからファームウェアを更新する」の手順 1 ～ 3 を行ってファームウェアを更新してください。

ファームウェアの更新がうまくいかない場合には

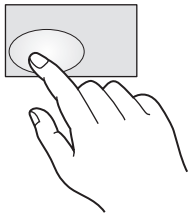
ファームウェアの更新が途中で止まったり失敗を繰り返したりする場合は、次の手順で本機のファームウェアの更新を完了してください。

1 タブレットにインストールされている *Bluetooth* 機器（BKB50 を除く）をお使いになるためのアプリケーションをいったんアンインストールする
2 本機のファームウェアを更新する
   - ファームウェアの更新は、以下のいずれかの方法で行ってください。
     – 「ランチャーメニューからファームウェアを更新する」の手順 1 ～ 3 を行う
     – 「本機とタブレットを再接続してからファームウェアを更新する」の手順 1 ～ 3 を行う
3 手順 1 でアンインストールしたアプリケーションを再インストールする
   - インストール方法については、お使いの *Bluetooth* 機器の取扱説明書をご覧ください。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

タッチパッドを使う

タブレットの画面に表示されている項目などを選択するには、タッチパッド上で指を動かして目的の場所の上までポインターを移動し、ボタンエリア（下記イラストの○部分）を 1 回押してすぐに離します（クリック）。



クリックするには

ポインターを希望の位置に合わせてボタンエリアを 1 回押します。また、タッチパッドを指で 1 回軽くたたいても同じ働きをします。

ドラッグするには

ポインターを希望の位置に合わせて、ボタンエリアを押したままタッチパッド上で指を動かします。また、タッチパッドを 2 回続けて軽くたたき、そのままタッチパッド上で指を動かしても同じ働きをします。

ドラッグアンドドロップをするには

ポインターを希望の位置に合わせ、左の指でボタンエリアを押したまま右手の指でタッチパッド上を動かし、目的の場所の上でボタンエリアから指を離します。また、タッチパッドに 2 本指で触れたままタッチバッド上で指を動かしても同じ働きをします。

スクロールするには

タッチパッドに 2 本指で触れて上下に動かすと、垂直方向に画面をスクロールできます。また、左右に動かすと、水平方向に画面をスクロールできます。

ピンチアウト／ピンチインするには

タッチパッドに 2 本の指で触れ、指の間隔を開いたり（ピンチアウト）閉じたり（ピンチイン）します。一部の画面ではピンチアウトすると表示を拡大し、ピンチインすると表示を縮小します。

- 本機のタッチパッド操作は、本機にタブレットを正しく装着した際に横画面表示となるアプリケーションで使えるようになっています。本機にタブレットを装着したまま縦画面表示専用アプリケーションなどをタッチパッドで操作する際には、ご注意ください。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

タブレットのスリープモード／画面ロック解除

本機を使ってタブレットのスリープモードを解除する

1 本機のスペースキーなどを押す
- スリープモードが解除され、画面が点灯します。

! 注意
- 本機を使ってスリープモードを解除するには、本機とタブレットのペアリングが完了している必要があります。

本機を使ってタブレットの画面ロックを解除する

ロック画面はタブレットの電源をオンにしたとき、またはタブレットの ⏻ や本機の ▭ を押してスリープモードを解除したときに表示されます。画面ロックについて詳しくは、タブレットの取扱説明書をご覧ください。

1 ロック画面で本機のスペースキーを押す
2 設定した画面ロック方法に従ってロックを解除する

ヒント
- タッチパッドに 2 本指で触れ、○印が表示されてからそのままタッチパッド上で指を上にスワイプしても手順 1 と同じ操作ができます。カーソルが画面の上側にあるときはロック解除できない場合があるため、カーソルを画面下側に移動させてから操作してください。

タブレットを取り付けたまま持ち運ぶ

1 タブレットを倒して閉じる
- 閉じる際は、指や爪などを挟まないようお気をつけください。

2 キーボードの手前側をタブレットと一緒にしっかりとおさえ、持ち運ぶ

! 注意
- タブレットを立てた状態では持ち運ばないでください。
- 本機とタブレットの接続側を持った状態で移動しないでください。落下して故障の原因となる場合があります。
- 本機の N マークに他の NFC 対応機器がタッチされると、本機はペアリングモードになりタブレットとのペアリングが解除されます。他の NFC 対応機器と一緒に本機を持ち運ぶときはご注意ください。

困ったときは

解決方法を確認する

本機を操作中に困ったときやトラブルが発生したときは、本機に付属の取扱説明書および本ユーザーガイドをもう一度ご覧になってお調べください。
また、サポートホームページで FAQ（よくあるお問い合わせ）も合わせてご覧ください。
http://www.sonymobile.co.jp/support/

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

主な仕様

外形寸法（突起部含まず）	幅：約 254mm × 高さ：約 7.5mm × 奥行き：約 170mm（最薄部 3.4mm、タブレット取付け部含む高さ 21mm）
質量	約 365g
キーピッチ	17mm
キーボードレイアウト	QWERTY-JIS ベース
充電端子	microUSB 端子
動作時間	最大 約 45 日（1 日 8 時間電源 ON、うち 2 時間使用の場合）
Bluetooth® 標準規格	Ver.4.0
Bluetooth® プロファイル	HOGP

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

Legal information

Sony BKB50

ご利用になる前に、別紙の*取扱説明書*をお読みください。

本ユーザーガイドは、Sony Mobile Communications Inc.、または各地域の関連会社が保証なしで発行するものです。
誤植、不正確な情報、またはプログラムおよび / または機器の改良による本ガイドの改訂および変更は、予告なく任意の時に Sony Mobile Communications Inc. が行います。当該変更箇所は、本ガイドの改訂版（最新版）に適用されます。

All rights reserved.
©2015 Sony Mobile Communications Inc.

Bluetooth® 機器の相互操作性および互換性は、状況に応じて異なります。機器は通常、Bluetooth1.2 以降に対応し、ヒューマン・インタフェース・デバイスプロファイルを持つ製品に対応しています。
ソニーおよび SONY はソニー株式会社の登録商標です。
「Bluetooth」は Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、当社はライセンスに基づいて使用しています。
Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
ここに明示されていない他の権利についても権利を留保します。
詳細は、http://www.sonymobile.co.jp を参照してください。
イラストは説明を目的として使用されており、実際のアクセサリーを正確に示すものではありません。

DECLARATION OF CONFORMITY

We, Sony Mobile Communications Inc of
Nya Vattentornet
SE-221 88 Lund, Sweden,
declare under our sole responsibility that our product

Sony type RD-0101

to which this declaration relates is in conformity with the appropriate standards

Spectrum	EMC	Safety
EN 300 328:V1.8.1	EN 301 489-3:V1.6.1	EN 60950-1:2006+A11:2009+A1:2010+A12:2010 +A2:2013
EN 302 291-2:V1.1.1	EN 301 489-7:V1.3.1	
	EN 301 489-17:V2.2.1	

following the provisions of Radio Equipment and Telecommunication Terminal Equipment Directive **1999/5/EC**

Lund, April 2015

CE 0682

Mikael Nilsson
Head of Global Type Approval

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

FCC Statement

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
Any change or modification not expressly approved by Sony may void the user's authority to operate the equipment.
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.
If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Industry Canada Statement

This device complies with RSS-210 of Industry Canada.
Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.
This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.
Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Avis d’industrie Canada

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.
L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes: (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et, and (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。